

科目名	ピアノⅠ			科目ナンバリング	KC1M1C01
担当者	隈部 文・光永 育				
担当形態	クラス分け			単位数	1単位
対象学科	未来創造学科			開設学年	1年次
開講時期	前期				
選択・必修区分	卒業要件	教職課程	保育士	音楽療法	ディプロマポリシー
	※	必修		選択必修	DE
備考	※こども文化コース必修				

授業のテーマ及び到達目標	こどもの自発的な音楽性を育てるピアノ演奏を身につける。童謡や自由な創作を通してこどもの心と感性を豊かにするためのピアノ実技の基本を学ぶ。演奏姿勢、タッチ、運指の決め方の基本と学修の方法を知る。コードについて理解し、即興で伴奏がつけられるようにする。			
授業の概要	保育園・幼稚園現場で実践できるピアノ実技を、各人の習熟度に合わせて導入・基礎から学ぶ。個人レッスンでテクニックの基本を身につけると共に、童謡の歌詞や情感を理解し表現するワークショップを取り入れる。またコード奏の基本を学び、こどもと即興で音楽に関わる基礎力をつける。			
授業計画	回	学習内容	事前学習	事後学習
	1	全体会：オリエンテーションとピアノ基礎奏法	教科書に目を通す	授業の復習
	2	演奏姿勢と指の形	教科書の該当箇所を読み、課題を練習する。	授業の復習
	3	打鍵と手首の使い方	教科書の該当箇所を読み、課題を練習する。	授業の復習
	4	楽譜の読み方	教科書の該当箇所を読み、課題を練習する。	授業の復習
	5	運指の基本	教科書の該当箇所を読み、課題を練習する。	授業の復習
	6	全体会：童謡ワークショップ	童謡について調べる	授業の復習
	7	歌詞とフレーズ	課題曲の練習	授業の復習
	8	リズムの基礎	課題曲の練習	授業の復習

	9	強弱法とテンポ	課題曲の練習	授業の復習
	10	全体会:コード奏ワークショップ(1)	教科書の該当箇所を読み、課題を練習する。	授業の復習
	11	三和音の弾き方	教科書の該当箇所を読み、課題を練習する。	授業の復習
	12	転回形の作り方	課題曲の練習	授業の復習
	13	七の和音の弾き方	課題曲の練習	授業の復習
	14	メロディーと伴奏	課題曲の練習	授業の復習
	15	全体会:まとめとコード奏ワークショップ(2)	全体的な復習と課題曲の練習	試験曲の練習

使用教科書	改訂 ポケットいっぱいのうた(教育芸術社),
	こどものうた200(チャイルド社),
	続・こどものうた200(チャイルド社)
参考書・参考資料等	日本童謡200選(音楽之友社),
	音楽リズム・幼児の歌(東京書籍)

成績評価基準	評価方法	割合	評価のポイント
	学期末試験	80%	テンポ、フレーズ感、表現力
	平常点	20%	毎回の練習状況、レッスンに取り組む姿勢

科目名	ピアノⅡ			科目ナンバリング	KC1M1C02
担当者	隈部 文・光永 育				
担当形態	クラス分け			単位数	1単位
対象学科	未来創造学科			開設学年	1年次
開講時期	後期				
選択・必修区分	卒業要件	教職課程	保育士	音楽療法	ディプロマポリシー
	※	必修		選択必修	DE
備考	※こども文化コース必修				

授業のテーマ及び到達目標	童謡と、保育現場でこどもに寄り添う音楽を探究する。読譜力と即興力を上げ、こどもの音楽的発達に応じた適切な音楽を提供ができるようにする。コード奏の応用力をつけ、こどもとの即興的な音楽作りができるようにする。			
授業の概要	ピアノⅠで学んだ基礎を向上させ、きれいな音で情感豊かなピアノが弾けるようになることを目指す。童謡の中でも、生活のうた、季節のうた、遊びうたなど園生活や子供の日常に結びついた様々な歌を学んで、生活と音楽が結びつくようにする。コード数を増やすとともに、コード展開技法も学び、より自由な音楽表現ができるようにする。			
授業計画	回	学習内容	事前学習	事後学習
	1	全体会：ピアノⅠの復習	ピアノⅠの復習	授業内容の復習
	2	コード奏の展開～分散和音の種類と弾き方	教科書の該当箇所を読み、課題を練習する。	授業内容の復習
	3	コード奏の展開～変化和音の練習	教科書の該当箇所を読み、課題を練習する。	授業内容の復習
	4	コード奏の展開～メロディーの装飾とリズム奏	課題曲の練習	授業内容の復習
	5	全体会：コード奏のワークショップ(1)	コード奏の復習	授業内容の復習
	6	「生活のうた」の歌詞理解と表現	教科書の該当箇所を読み、課題を練習する。	授業内容の復習
	7	「季節のうた」の歌詞理解と表現	教科書の該当箇所を読み、課題を練習する。	授業内容の復習
	8	「遊びうた」の歌詞理解と表現	教科書の該当箇所を読み、課題を練習する。	授業内容の復習

	9	歌詞表現とリズム、テンポ	課題曲の練習	授業内容の復習
	10	全体会:コード奏のワークショップ(2)	コード奏(1)の復習	授業内容の復習
	11	童謡のフレージング	課題曲の練習	授業内容の復習
	12	即興伴奏の基礎	課題曲の練習	授業内容の復習
	13	即興伴奏の展開	課題曲の練習	授業内容の復習
	14	弾き歌いの基礎	課題曲の練習	授業内容の復習
	15	まとめと復習	これまでの内容を復習	試験曲の練習

使用教科書	改訂 ポケットいっぱいのうた(教育芸術社),
	こどものうた200(チャイルド社),
	続・こどものうた200 (チャイルド社)
参考書・参考資料等	日本童謡200選 (音楽之友社),
	音楽リズム・幼児の歌(東京書籍)

成績評価基準	評価方法	割合	評価のポイント
	学期末試験	80%	テンポ、フレーズ感、表現力
	平常点	20%	毎回の練習状況、レッスンに取り組む姿勢

科目名	声楽Ⅰ			科目ナンバリング	KC1M1C09
担当者	山崎 三代子				
担当形態	単独			単位数	1単位
対象学科	未来創造学科			開設学年	1年次
開講時期	前期				
選択・必修区分	卒業要件	教職課程	保育士	音楽療法	ディプロマポリシー
	必修	選択必修	必修		AD
備考					

授業のテーマ及び到達目標	50曲の歌唱を行い、その内こどもの歌15曲、手遊び15曲を暗譜し、現場で即座に使える歌の音楽力を身につける。			
授業の概要	歌う事の基本である呼吸法、発声法を学ぶ。たくさんの童謡・唱歌、手遊びを含む様々なこどもの歌にふれながら、歌詞も理解し、曲に合った表現や工夫も身につける。また集団を動かす声作り、声に使い方についても学ぶ。また音楽に合わせて身体を動かし、リズム感を養う。さらには童謡の作曲家についても学修する。適宜、個人レッスンをを行う。			
授業計画	回	学習内容	事前学習	事後学習
	1	オリエンテーション 声楽の発声について理解する。授業の進め方を把握する。	シラバスを熟読する	こどもの歌について調べる
	2	発声、コンコーネ50番、こどもの歌(生活の歌)	教科書の知っている歌を歌唱する	授業で歌唱した曲を暗譜する
	3	発声、コンコーネ50番、こどもの歌(入園、卒園、誕生会、七夕、夏休み)	教科書の知っている歌を歌唱する	授業で歌唱した曲を暗譜する
	4	発声、コンコーネ50番、こどもの歌(クリスマス、お正月、節分、ひな祭り)	教科書の知っている歌を歌唱する	授業で歌唱した曲を暗譜する
	5	発声、コンコーネ50番、こどもの歌(春、花)	教科書の知っている歌を歌唱する	授業で歌唱した曲を暗譜する
	6	発声、コンコーネ50番、こどもの歌(ともだち、先生)	教科書の知っている歌を歌唱する	授業で歌唱した曲を暗譜する
	7	発声、コンコーネ50番、こどもの歌(雨、動物)	教科書の知っている歌を歌唱する	授業で歌唱した曲を暗譜する
	8	発声、コンコーネ50番、こどもの歌(夏、海)	教科書の知っている歌を歌唱する	授業で歌唱した曲を暗譜する

	9	発声、コンコーネ50番、こどもの歌(食べ物、水遊び)	教科書の知っている歌を歌唱する	授業で歌唱した曲を暗譜する
	10	発声、コンコーネ50番、こどもの歌(秋、動物)	教科書の知っている歌を歌唱する	授業で歌唱した曲を暗譜する
	11	発声、コンコーネ50番、こどもの歌(冬、雪)	教科書の知っている歌を歌唱する	授業で歌唱した曲を暗譜する
	12	発声、コンコーネ50番、こどもの歌(クリスマス、一年生)	教科書の知っている歌を歌唱する	授業で歌唱した曲を暗譜する
	13	発声、コンコーネ50番、こどもの歌(乗り物、遊び)	教科書の知っている歌を歌唱する	授業で歌唱した曲を暗譜する
	14	発声、コンコーネ50番、こどもの歌(試験課題曲の復習)	試験課題曲を暗譜する	授業で歌唱した曲を暗譜する
	15	まとめ(課題曲の歌唱による試験)	試験課題曲を暗譜する	授業で歌唱した曲を暗譜する

使用教科書	改訂ポケットいっぱいのうた実践子どもの歌(教育芸術社),
	コンコーネ50番 中声用(全音楽譜出版社)
参考書・参考資料等	

成績評価基準	評価方法	割合	評価のポイント
	平常点(態度・行動観察)	20%	授業への集中、課題への取り組み
	期末テスト	80%	歌唱による試験

科目名	声楽Ⅱ			科目ナンバリング	KC1M1C10
担当者	山崎 三代子				
担当形態	単独			単位数	1単位
対象学科	未来創造学科			開設学年	1年次
開講時期	後期				
選択・必修区分	卒業要件	教職課程	保育士	音楽療法	ディプロマポリシー
	必修	選択必修	必修		AD
備考					

授業のテーマ及び到達目標	50曲の歌唱を行い、その内こどもの歌15曲、手遊び15曲を暗譜し、現場で即座に使える歌の音楽力を身につける。			
授業の概要	声楽Ⅰに引き続き呼吸法、発声法を学び、さらに集団を動かす声作り、声の使い方についても学ぶ。たくさんの童謡・唱歌、様々なこどもの歌を歌唱し、保育現場でその提供の仕方(姿勢、表情、声のかけ方)などについても学ぶ。さらには童謡の作曲家についても学修する。適宜、個人レッスンをを行う。			
授業計画	回	学習内容	事前学習	事後学習
	1	オリエンテーション 発声、コンコーネ50番、こどもの歌 (前期既習曲)	シラバスを熟読する	前期既習曲を復習する
	2	発声、コンコーネ50番、こどもの歌(食べ物、乗り物)	教科書の知っている歌を歌唱する	授業で歌唱した曲を暗譜する
	3	発声、コンコーネ50番、こどもの歌(動物、おばけ)	教科書の知っている歌を歌唱する	授業で歌唱した曲を暗譜する
	4	発声、コンコーネ50番、こどもの歌(わらべうた)	教科書の知っている歌を歌唱する	授業で歌唱した曲を暗譜する
	5	発声、コンコーネ50番、こどもの歌(レクリエーション)	教科書の知っている歌を歌唱する	授業で歌唱した曲を暗譜する
	6	発声、コンコーネ50番、こどもの歌(からだ、野菜)	教科書の知っている歌を歌唱する	授業で歌唱した曲を暗譜する
	7	発声、コンコーネ50番、こどもの歌(アニメソング)	教科書の知っている歌を歌唱する	授業で歌唱した曲を暗譜する
	8	発声、コンコーネ50番、こどもの歌(テレビ番組の曲)	教科書の知っている歌を歌唱する	授業で歌唱した曲を暗譜する

	9	発声、コンコーネ50番、こどもの歌(CMソング)	教科書の知っている歌を歌唱する	授業で歌唱した曲を暗譜する
	10	発声、コンコーネ50番、こどもの歌(NHK”おかあさんといっしょ”の曲から)	教科書の知っている歌を歌唱する	授業で歌唱した曲を暗譜する
	11	発声、コンコーネ50番、こどもの歌(ディズニー映画から)	教科書の知っている歌を歌唱する	授業で歌唱した曲を暗譜する
	12	発声、コンコーネ50番、こどもの歌(英語の歌)	教科書の知っている歌を歌唱する	授業で歌唱した曲を暗譜する
	13	発声、コンコーネ50番、こどもの歌(これまで学修した曲の復習)	教科書の知っている歌を歌唱する	授業で歌唱した曲を暗譜する
	14	発声、コンコーネ50番、こどもの歌(試験課題曲の復習)	試験課題曲を暗譜する	授業で歌唱した曲を暗譜する
	15	まとめ(課題曲の歌唱による試験)	試験課題曲を暗譜する	授業で歌唱した曲を暗譜する

使用教科書	改訂ポケットいっぱいのうた実践子どもの歌(教育芸術社),
	コンコーネ50番 中声用(全音楽譜出版社)
参考書・参考資料等	

成績評価基準	評価方法	割合	評価のポイント
	平常点(態度・行動観察)	20%	授業への集中、課題への取り組み
	期末テスト	80%	歌唱による試験

科目名	リトミックⅠ			科目ナンバリング	MC1M3N17/KC1M1N19
担当者	隈部 文				
担当形態	単独			単位数	1単位
対象学科	両学科共通			開設学年	1年次
開講時期	前期				
選択・必修区分	卒業要件	教職課程	保育士	音楽療法	ディプロマポリシー
	※				ABCDEF
備考	※未来創造学科こども文化コース必修				

授業のテーマ及び到達目標	リトミックを体験することにより、「集中力」「直感力」「記憶力」「創造力」「想像力」など高まり、音や音楽を深く感じられるようになる。リズムの持つエネルギーの違いが表現できる			
授業の概要	感覚を通じた反応活動を伴いながら音楽の持つ様々な要素を身体全体で感じていく。常に動きながら音楽を体験し、心と身体の調和を促したり、音楽的センスを培っていく			
授業計画	回	学習内容	事前学習	事後学習
	1	オリエンテーション 基本的な動きと即時反応	シラバスに目を通しておく	エミール＝ジャック、ダルクローズについて調べる
	2	ビート(拍)	配布資料を読み、様々なジャンルの音楽を聴いておく	様々な音楽を聴きながらビートを叩く
	3	ダイナミクスとテンポ	配布資料を読んでおく	いろいろな速さの音楽を聴きながらビートを叩く
	4	拍子	配布資料を読んでおく	様々な曲を歌いながら拍子をクラブやステップする
	5	アナクルーシス	拍子の復習をしておく	身近な曲からアナクルーシスを探す
	6	基礎リズム	基本的なリズムをクラブしておく	授業を振り返り、基礎リズムの体験方法を考えてみる
	7	リズムパターン(リズム型)	物の名前を言いながらクラブしておく	授業で学んだリズムパターンをステップしておく
	8	リズムフレーズ(声とクラブ)	短文を言いながらクラブしておく	リズムフレーズをリズム唱で唱えたりクラブする

	9	リズムフレーズ(クラブとステップ)	課題のリズムフレーズをクラブしておく	自分でリズムフレーズを作りクラブやステップをする
	10	ポリリズム	課題のリズムをクラブ、ステップしておく	自分で考えたポリリズムをクラブやステップする
	11	曲の形式	提示された曲を聴いておく	いろいろな曲の形式を調べる
	12	ニュアンス	配布資料を読んでおく	自分の好きな曲をいろいろなニュアンスで歌ってみる
	13	補足リズム	基礎リズムやリズムパターンをクラブしておく	いろいろな曲を歌いながら補足リズムをクラブする
	14	連鎖リズムとカノン	課題のリズムをクラブ、ステップしておく	授業で取り上げた課題を確実にできるようにしておく
	15	まとめ	実技試験の準備	実技試験の振り返り

使用教科書	適宜プリントを配布する
参考書・参考資料等	ダルクローズ・アプローチによる子どものための音楽授業(ふくろう出版)

成績評価基準	評価方法	割合	評価のポイント
	平常点	40%	授業への積極的な取り組み、受講態度
	定期試験(実技試験)	60%	リズムの正確さ

科目名	リトミックⅡ	科目ナンバリング	MC1M3N18/KC1M1N20		
担当者	隈部 文				
担当形態	単独	単位数	1単位		
対象学科	両学科共通	開設学年	1年次		
開講時期	後期				
選択・必修区分	卒業要件	教職課程	保育士	音楽療法	ディプロマポリシー
	※				ABCDEF
備考	※未来創造学科こども文化コース必修				

授業のテーマ及び到達目標	保育や幼児教育、学校教育などさまざまな現場で生かせるリトミック指導ができるようになる。動きのためのピアノが弾けるようになる。			
授業の概要	リトミックⅠで経験したことを基盤として発展させ、保育や幼児教育、また学校教育の現場で生かせるリトミック指導法や、音楽と動きを関連付けた音楽教育としてのリトミックを習得する。			
授業計画	回	学習内容	事前学習	事後学習
	1	動きのための音楽① テキスト①	夏休みの課題曲を弾いておく	授業内容の復習
	2	動きのための音楽② テキスト②	課題曲を弾いておく	授業内容の復習
	3	いろいろな表現①(ボディー・パーカッション) テキスト③	課題のリズムを叩いてくる	授業内容の復習
	4	いろいろな表現②(身体表現を伴っての言葉のアンサンブル) テキスト④	課題のリズムを叩いてくる	授業内容の復習
	5	いろいろな表現③(絵本に動きをつける) テキスト⑤	グループで絵本を考え、内容を把握しておく	授業内容の復習
	6	速さの違いを感じての動き テキスト⑥	課題曲を聴いておく	授業内容の復習
	7	楽器の音色の違いを楽しみながらの動き テキスト⑦	課題曲を聴いておく	授業内容の復習
	8	3拍子を感じて「メヌエット」を味わう テキスト⑧	課題曲を聴いておく	授業内容の復習

	9	指導案作成	資料に目を通して おく	授業内容の復習
	10	ロールプレイ①	ロールプレイの準備をする	授業内容の復習
	11	ロールプレイ②	ロールプレイの準備をする	授業内容の復習
	12	音楽の視覚化①(曲の分析)	課題曲を聴いておく	授業内容の復習
	13	音楽の視覚化②(曲を動く)	曲の要素に合う動きを考えておく	授業内容の復習
	14	音楽の視覚化③(仮発表と検討)	自分の動きやグループ全体の動きを復習しておく	授業内容の復習
	15	まとめ	実技試験の準備	授業全体と実技試験の振り返り

使用教科書	こころとからだを育む 1～5歳児のたのしいリトミック(ナツメ社),
	適宜プリントを配布する
参考書・参考資料等	基礎からわかるリトミック！リトミック！（ひかりのくに）,
	ダルクローズ・アプローチによる子どものための音楽授業(ふくろう出版)

成績評価基準	評価方法	割合	評価のポイント
	平常点	50%	授業への積極的な取り組み、受講態度
	定期試験(実技試験)	50%	TSEが感じられているか、創意工夫

科目名	幼児の音楽あそび			科目ナンバリング	KC1M1E21
担当者	神野 和美				
担当形態	単独			単位数	2単位
対象学科	未来創造学科			開設学年	1年次
開講時期	前期				
選択・必修区分	卒業要件	教職課程	保育士	音楽療法	ディプロマポリシー
	※		必修		ABCDEF
備考	※こども文化コース必修				

授業のテーマ及び到達目標	0歳から6歳までの発達に沿って必要な歌やしぐさを修得する。幼児の集団遊びの種類や性質を整理し、いろいろな場面であそびこなせる力をつける。子どもの身近な遊具や道具を使っても遊べるよう経験を積む			
授業の概要	教育者として乳幼児に関わるときに最も大事な役割は、人間育成の手助けである。身体的言語的発達がまだ未熟な子どもに対し芸術、特に音楽を通しての教育は大変重要でかつ一番子どもにとって身近な媒体である。そのはじめの一歩として、自分自身の声と身体(身近な道具も)を使って乳幼児に寄り添えるわらべうたをしっかり身につける			
授業計画	回	学習内容	事前学習	事後学習
	1	オリエンテーション 幼児の音楽あそびの授業内容について	教科書の目次を確認しておく	授業内容の確認
	2	乳児の遊び歌①	課題の予習69p～90p	曲分析シート作成1
	3	乳児の遊び歌②	課題の予習69p～90p	曲分析シート作成2
	4	乳児の遊ばせ遊び(足・ひざ)	課題の予習115p～120p	曲分析シート作成3
	5	乳児の遊ばせ遊び(手を使った遊び)	課題の予習99p～114p	曲分析シート作成4
	6	乳児の遊ばせ遊び(顔・頭)と、こもりうた	課題の予習91p～98p	曲分析シート作成5
	7	幼児(しぐさ遊び)	課題の予習197p～	曲分析シート作成6
	8	幼児(役交代の遊び)	課題の予習197p	曲分析シート作成7

	9	幼児(かぞえ歌、その他の遊び)	課題の予習197p ～	曲分析シート作成 8
	10	幼児(減り増える遊び)	課題の予習197p ～	曲分析シート作成 9
	11	幼児(隊伍の遊び)	課題の予習197p ～	曲分析シート作成 10
	12	幼児(道具を使う遊び)	動きやすい服装	曲の復習
	13	幼児の実践のための復習	6～10番号シート	授業の復習
	14	わらべうた総復習	全てのシート	授業の復習
	15	まとめ	実技試験のため の準備	曲分析シートのま とめ、試験の準備

使用教科書	わらべうた わたしたちの音楽～保育園・幼稚園の実践～(明治図書)
参考書・参考資料等	

成績評価基準	評価方法	割合	評価のポイント
	期末試験	50%	実技試験
	平常点(態度・行動観察)	20%	授業の参加態度、予習復習の準備
	レポート(シート)	30%	課題の取り組み、毎回の積み重ね

科目名	幼児の音楽指導法			科目ナンバリング	KC1M1E22
担当者	神野 和美				
担当形態	単独			単位数	2単位
対象学科	未来創造学科			開設学年	1年次
開講時期	前期				
選択・必修区分	卒業要件	教職課程	保育士	音楽療法	ディプロマポリシー
	選択				ABCDEF
備考					

授業のテーマ及び到達目標	乳児では、子どもの発達の順次性を理解した上で最適な遊び歌を選べる力をつけ、いろいろな場面での応用力が身に付くようになる。幼児では複数の遊びや歌を一つの実践として組み立てる(計画を立てる)ことができるようになる			
授業の概要	「乳幼児の音楽あそび」で習得するたくさんの歌を、具体的にどのような場面で活かせるのかという場面をイメージしたり、またどのように組み立てて表現していくことで子どもとの芸術を通した教育が活かされるのかを学んでいく			
授業計画	回	学習内容	事前学習	事後学習
	1	オリエンテーション 幼児の音楽指導法の授業内容について	教科書の目次を確認しておく	授業内容の確認
	2	なぜわらべうたか	課題の予習19p～	プリントの復習
	3	わらべうたの力	課題の予習23p～	復習
	4	子どもの身体発達	プリント配布につき予習なし	シートの記入
	5	乳児の生活	課題の予習50p～61p	まとめ復習
	6	乳児の計画①	予習62p～	授業の復習
	7	乳児の計画②	課題の予習、プリントの復習	まとめ復習
	8	音楽課業の組み立て①	課題の予習122p～	授業の復習

	9	音楽課業の組み立て②	課題の予習133p ～	復習
	10	音楽課業の実践例演習	課題の予習	計画表完成
	11	幼児のレパートリー表作り	レパートリーの確認	表の完成
	12	幼児の課業の実践案作り①	課題の予習151p ～	シートの記入
	13	幼児の課業の実践案作り②	前回の復習	課業実践案の作成
	14	実践練習	実践案確認	実践練習の振り返り
	15	これまでの総まとめ	実技試験のための準備	これまでの復習と試験の準備

使用教科書	わらべうた わたしたちの音楽～保育園・幼稚園の実践～(明治図書)
参考書・参考資料等	

成績評価基準	評価方法	割合	評価のポイント
	期末試験	50%	筆記試験
	平常点(態度・行動観察)	30%	授業の参加態度、予習復習の準備
	レポート(シート)	20%	課題の取り組み